

令和3年度上半期（令和3年4月1日から令和3年9月30日まで）における小平市下水道事業の業務の状況

1 事業の概況

令和3年度の上半期は、処理水量は13,674,008立方メートルで、前年同期の14,801,386立方メートルに比べ、1,127,378立方メートル（7.6%）減少しました。

また、収益的収支の主な収入である下水道使用料の調定額は、1,095,311千円で、前年同期の1,083,598千円に比べ11,713千円（1.1%）増加しました。

収益的収支の主な支出は、流域下水道維持管理負担金225,271千円、総係費の下水道使用料徴収業務委託料126,645千円です。資本的収支の主な支出は、企業債償還金の償還元金221,585千円です。

2 経理の状況

(1) 収益的収支の状況

(単位：円・%)

収入				支出			
区分	予算現額	執行額	執行率	区分	予算現額	執行額	執行率
営業収益	2,939,588,000	1,595,430,790	54.3	営業費用	3,672,849,000	442,570,425	12.0
下水道使用料	2,137,343,000	1,095,310,988	51.2	管渠費	210,793,000	58,599,739	27.8
雨水処理負担金	801,857,000	500,000,000	62.4	流域下水道維持管理負担金	1,060,590,000	225,271,157	21.2
受託事業収益	1,000	0	0.0	総係費	341,360,000	158,699,529	46.5
その他営業収益	387,000	119,802	31.0	減価償却費	2,055,052,000	0	0.0
営業外収益	1,364,231,000	1,217,377	0.1	資産減耗費	5,054,000	0	0.0
受取利息及び配当金	37,000	66,983	181.0	営業外費用	162,430,000	47,383,162	29.2
他会計負担金	40,567,000	0	0.0	支払利息	107,430,000	47,383,162	44.1
長期前受金戻入	1,322,500,000	0	0.0	消費税及び地方消費税	55,000,000	0	0.0
雑収益	1,127,000	1,150,394	102.1	予備費	10,000,000	0	0.0
-	-	-	-	予備費	10,000,000	0	0.0
合計	4,303,819,000	1,596,648,167	37.1	合計	3,845,279,000	489,953,587	12.7

(2) 資本的収支の状況

(単位：円・%)

収入				支出			
区分	予算現額	執行額	執行率	区分	予算現額	執行額	執行率
企業債	592,400,000		0.0	建設改良費	1,045,302,000	45,535,549	4.4
企業債	592,400,000		0.0	管渠建設改良費	804,026,000	30,312,756	3.8
国庫補助金	39,220,000		0.0	流域下水道費	241,276,000	15,222,793	6.3
国庫補助金	39,220,000		0.0	固定資産購入費	310,000	0	0.0
都補助金	1,961,000		0.0	固定資産購入費	310,000	0	0.0
都補助金	1,961,000		0.0	企業債償還金	479,591,000	221,584,823	46.2
他会計負担金	257,576,000	100,000,000	38.8	企業債償還金	479,591,000	221,584,823	46.2
他会計負担金	257,576,000	100,000,000	38.8	投資	200,000,000	0	0.0
-	-	-	-	基金造成費	200,000,000	0	0.0
-	-	-	-	予備費	10,000,000		0.0
-	-	-	-	予備費	10,000,000		0.0
合計	891,157,000	100,000,000	11.2	合計	1,735,203,000	267,120,372	15.4

3 補正予算の状況

令和3年度上半期の補正の主な内容は次のとおりです。

< 1号補正 >

小川駅西口地区市街地再開発事業では、公共施設として、駅前広場、区画道路及び（仮称）小川にぎわい広場を整備することから、小川駅西口地区市街地再開発組合が施行する下水道工事等に係る市の負担金について、以下のとおり債務負担行為を設定しました。

（単位：千円）

事 項	期 間	限 度 額
小川駅西口地区市街地再開発事業 公共施設管理者負担金	令和4年度～11年度	410,000

なお、下水道事業会計における再開発組合への支払いは、令和4年度以降となり、令和3年度は支出が発生しないことから、事業費の補正は行いませんでした。

令和2年度 小平市下水道事業決算の状況

1 概況

(1) 業務の状況

処理面積は 2,046 ヘクタール、年間総処理水量は 26,962,992 m³、一日平均処理水量は 73,871 m³となりました。また、ふれあい下水道館の年間来館者数は 15,590 人となりました。

(2) 経理の状況

ア 収益的収支（消費税抜き）

収益的収入は、下水道使用料 1,991,989,958 円や長期前受金戻入 1,378,295,064 円などにより合計 4,167,663,250 円となりました。収益的支出は、流域下水道維持管理負担金 948,558,060 円や減価償却費 2,098,151,647 円などにより合計 3,713,842,353 円となり、当年度純利益は、453,820,897 円となりました。

イ 資本的収支（消費税込み）

資本的収入は、企業債 418,300,000 円や他会計負担金 249,384,000 円などにより合計 767,024,000 円となりました。資本的支出は、管渠建設改良費 784,041,433 円や企業債償還金 473,293,641 円などにより合計 1,446,374,547 円となりました。

この結果、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 679,350,547 円は、過年度分損益勘定留保資金 168,282,500 円及び当年度分損益勘定留保資金 511,068,047 円で補てんしました。

(3) 建設改良事業の状況

雨水整備として、分流式下水道区域における雨水管渠の設計や、大沼町1・2・4丁目及び花小金井5丁目で合計5か所の雨水管渠築造工事を実施したほか、東久留米市施工の負担金工事を1か所実施しました。

施設の老朽化対策として、鈴木処理分区において対策工事を実施したほか、令和9年度以降に対策工事を予定している上水南処理分区において管路内調査等を実施しました。

地震対策として、令和元年度に引き続き、特に重要な管路の耐震診断調査を実施し、管路延長約29.5kmのうち、約27.7kmについては所要の耐震性能を有していることを確認しました。

2 前年度比較

(1) 収益的収支の状況(税抜)

(単位：円)

収入				支出			
区分	令和2年度	令和元年度	比較	区分	令和2年度	令和元年度	比較
営業収益	2,749,588,314	2,812,439,247	△62,850,933	営業費用	3,581,644,118	3,629,082,576	△47,438,458
下水道使用料	1,991,989,958	2,016,722,809	△24,732,851	管渠費	194,870,833	222,748,074	△27,877,241
雨水処理負担金	755,830,000	789,262,000	△33,432,000	流域下水道 維持管理負担金	948,558,060	965,548,158	△16,990,098
受託事業収益	1,056,000	402,500	653,500	総係費	326,108,515	339,748,819	△13,640,304
補助金	0	5,386,000	△5,386,000	減価償却費	2,098,151,647	2,088,985,705	9,165,942
その他営業収益	712,356	665,938	46,418	資産減耗費	13,955,063	12,051,820	1,903,243
営業外収益	1,418,074,936	1,426,377,994	△8,303,058	営業外費用	132,198,235	151,087,367	△18,889,132
受取利息及び 配当金	413,254	88,815	324,439	支払利息	103,441,734	119,813,023	△16,371,289
他会計負担金	38,134,000	54,588,000	△16,454,000	雑支出	28,756,501	31,274,344	△2,517,843
長期前受金戻入	1,378,295,064	1,370,579,596	7,715,468	特別損失	0	9,692,786	△9,692,786
雑収益	1,232,618	1,121,583	111,035	その他特別損失	0	9,692,786	△9,692,786
合計	4,167,663,250	4,238,817,241	△71,153,991	合計	3,713,842,353	3,789,862,729	△76,020,376

(2) 資本的収支の状況(税込)

(単位：円)

収入				支出			
区分	令和2年度	令和元年度	比較	区分	令和2年度	令和元年度	比較
企業債	418,300,000	712,300,000	△294,000,000	建設改良費	872,614,781	809,089,167	63,525,614
企業債	418,300,000	712,300,000	△294,000,000	管渠建設改良費	784,041,433	766,293,104	17,748,329
国庫補助金	94,610,000	64,600,000	30,010,000	流域下水道費	88,573,348	42,796,063	45,777,285
国庫補助金	94,610,000	64,600,000	30,010,000	固定資産購入費	466,125	246,151,861	△245,685,736
都補助金	4,730,000	3,230,000	1,500,000	固定資産購入費	466,125	246,151,861	△245,685,736
都補助金	4,730,000	3,230,000	1,500,000	企業債償還金	473,293,641	590,038,832	△116,745,191
他会計負担金	249,384,000	204,608,000	44,776,000	企業債償還金	473,293,641	590,038,832	△116,745,191
他会計負担金	249,384,000	204,608,000	44,776,000	投資	100,000,000	250,000,000	△150,000,000
				基金造成費	100,000,000	250,000,000	△150,000,000
合計	767,024,000	984,738,000	△217,714,000	合計	1,446,374,547	1,895,279,860	△448,905,313